

授業力ブラッシュアップ®研修会Ⅲ・Ⅳ

今回は前回に引き続き、今年度の授業力ブラッシュアップ研修会「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業はどうあればよいかをテーマに提案授業・講義・演習を実施した、小学校音楽と中学校道徳の研修会の様子を紹介します。

小学校 音楽

音楽の見方・考え方を働かせ、音や音楽と豊かに関わることができる児童の育成～鑑賞領域における授業改善を通して～

1 提案授業

「曲想の変化に気をつけて、音楽が表わしている様子を思いうかべながら聴こう」第4学年

授業者：一関市立藤沢小学校 教諭 田中 郁美

助言者：県南教育事務所 指導主事 柳原 和歌子

★学習過程で新たな知識を得たり、既習の知識を生かしたりしながら、曲のよさを音楽的な根拠に基づいて見いだすことができるようになるための指導の在り方

音楽的な見方・考え方を働かせながら、実感を伴った知識の更新ができるように指導計画と指導の手立てを考えた。1・2時で得た学び(知識)を生かしながら、3時でオーケストラ演奏(DVD)を視聴する機会を設定した。視聴を通して、曲や演奏のよさを見いだしながら、曲全体を味わって聴けるようにした。



★共通事項との関連を図り、聴き取ったこと(知覚)と感じ取ったこと(感受)をかかわらせながら、曲想の変化に気づかせるための手立ての在り方

本時では、感じ取ったこと(感受)と聴き取ったこと(知覚)を関わらせながら曲想の変化に気付けるように、共通事項アから強弱・速度・音色を中心に位置付けた。拍に合わせてお手玉を動かす活動を取り入れ、強弱・速度の変化について実感を伴いながら感じとれるようにした。また、登場人物のペープサートや場面絵などを用いて、音楽が表わしている様子を思いうかべながら、曲想と音楽との構造に気付けるようにした。

2 講義 講師：県南教育事務所 指導主事 柳原 和歌子

(1) 「新学習指導要領」について

音楽科における改訂の趣旨、目標、内容等について理解してほしい。表現領域では「思いや意図をもって歌ったり、楽器を演奏したり、音楽をつくったりする活動の充実」、鑑賞領域では「よさなどを見いだし味わって聴く活動の充実」を図ることが求められている。その際、共通事項を位置付けながら、児童が活動を通して、指導事項を身に付けることができるようにすることが大切である。

(2) 鑑賞の教材研究について

教師自身が教材研究を通して曲や演奏のよさを味わうことが大切。児童にどのような曲との出会いを演出するか、共通事項は何を位置付けるか、課題とまとめはどうするか等、児童の実態に合った授業構想が求められる。ワークシートは、何を記述させたいのかねらいを明確にして作成する必要がある。

中学校 道徳

道徳的問題を捉え、主体的・対話的な学習を通して多面的・多角的に考え、道徳的価値の理解を自分自身との関わりの中で深める学習の構想

1 提案授業

「一冊のノート」(C14)家族愛、家庭生活の充実)第1学年

授業者：奥州市立東水沢中学校 教諭 加藤 美香

助言者：東京都府中市立府中第一中学校

校長 森岡 耕平 先生

★道徳的問題を自分事として捉え、主題に対する興味や関心を高め、学習する道徳的価値について自分との関わりで考えるための動機付けを図る導入の在り方

事前に生徒に回答させていた家族に関するアンケートの結果について、導入で紹介した。また、そこから考えられることやエピソードについて話し合ったり、みんなにも共通した気持ちになることがあるかを問い、家族に対する思いを引き出したりすることで、「家族の一員」という主題に対して、価値の自覚や実現がまだ十分でないことに気付かせ、家族と自分との関わりについて考えていくという課題につなげた。

★道徳的価値に対する自分の考えをもち、友達と議論する中で多面的、多角的に見方を発展させ、自分の考えやこれまでの自分を捉え直すための話し合いの在り方



中心場面で、登場人物の気持ちが大きく変容するきっかけである祖母のノートの内容を提示し、それを読んだ上で中心発問に対する自分の考えを学習プリントに記述させた。その後、グループによる話し合いを通して考えた主人公の心情を個々にキーワードでまとめ、黒板に全員の言葉を類型化して貼り、それをもとに全体で話し合う中で、多面的、多角的に考えられるようにした。

2 講義 講師：府中第一中学校 校長 森岡 耕平 先生

(1) 道徳教育の抜本的改善・充実

22の内容項目を確実に取り上げ、道徳科を要とする道徳教育で道徳性を育てていくこと。道徳科では、学習指導要領に示された質の高い多様な指導方法を授業改善の視点とし、対話の中で思いや考えに迫ったり、道徳上の問題に気付いたりする授業を目指すことが大切である。

(2) 道徳科の評価について

生徒の学習状況や道徳性の成長の様子を継続的に把握するために、ワークシートから評価の視点に照らして読み取ったり、振り返りカードを活用して、個人内評価から道徳性の成長を見取ったりする。評価は指導改善へとつなげることが大切である。